

平成 25 年度 第 6 回簡易耐震化工法検討委員会WG会議 議事録 (案)

日 時：2013 年 9 月 12 日 13:00~14:30

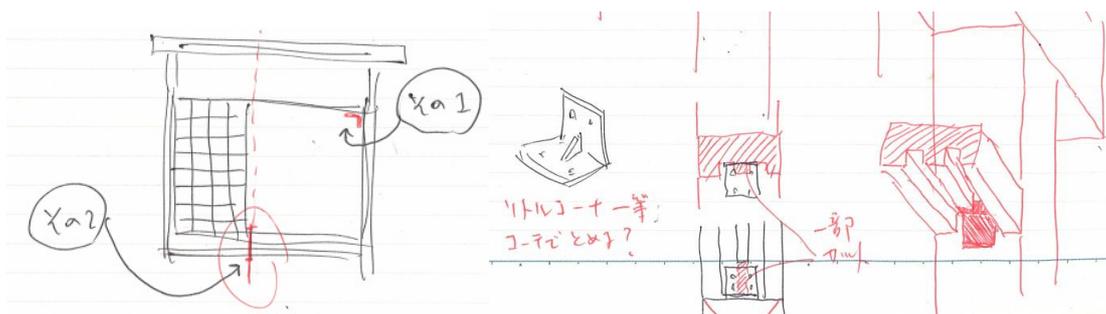
場 所：徳島県木材利用創造センター

出席者：宮本、後藤、日下、中飯、松田、内野 議事録：内野

【前回の議事録確認】文中「載下」→「載荷」、「実台」→「実大」

【耐震建具】

- ・ No.2 (9/6 実施) 試験結果：一側は欄間壁がある場合とほぼ変わらないが、+側では敷居が浮いて 1/3 程度の値。耐震建具のない側の鴨居が抜けた。(↓補強その 1、2 へ)
- ・ No.2 の補強版=No.3 試験 11/12 (火) +11/15 (金)
- ・ No.5 の補強版=No.6 試験 11/19 (火) +11/22 (金)
- ・ No.1 試験 11/26 (火) 11/29 (金)
- ・ No.3 と 6 の設計を。
- ・ 補強その 1：耐震建具のついてない方の鴨居を金物で柱に固定する。
- ・ 補強その 2：敷居と下部構造を固定する。



【シェルター】

- ・ 垂直構面実大実験、愛媛の久万高原町の施設、二間 20 t? →加力機は 20 t だが、フレームは 10 t の設計。既存シェルター結果から 8.5 t 必要で、10 t では余裕がなさ過ぎる。引き続き他の施設を探す。
- ・ 水平構面の載荷試験は庄町で可能。
- ・ 既存シェルターでは鉛直載荷は 7 倍の余裕がある。垂直構面はぎりぎり。8 畳タイプ、まず試算する。
- ・ 天井高は基準法の居室の最低高さ 2100 を守る。
- ・ 生命空間確保程度に壊れる設計? →壊れない設計しかありえない。

【その他】

- ・ 建具試験：9 月 2 回+11 月 3 回の計 5 回、シェルター試験：垂直構面 3 回+水平構面 1 回。総額いくらかかるか見積もりを→後藤さん。
- ・ 次回会議：10/7 (月) 14:00~@木材利用創造センター
- ・ 次回までに、補強方向の提案 (中飯・内野)、53 ミリ耐震障子の設計 (松田)、試験費用の見積もり (後藤)、シェルターの試算 (宮本先生) など、お願いします。